



2020年4月7日

各位

スパークス・グループ株式会社  
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平  
(コード8739 東証第一部)

**「未来創生 2号ファンド」  
クリーン水素技術の開発における先駆者 ZEG Power への投資実行**

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2018年7月に設立した「未来創生 2号ファンド」が、ノルウェーに拠点を置くクリーン水素技術の開発における先駆者である ZEG Power AS（本社：ノルウェー オスロ CEO：Kathrine Ryengen。以下、ZEG Power と表記）への投資（金額は非開示）を実行しましたので、お知らせします。天然ガスから水素を生成しつつ、副生する CO<sub>2</sub> を固体と反応させ分離後、加熱処理して CO<sub>2</sub> を回収する装置を開発した ZEG Power は今回の調達資金を活用し、世界にエネルギー生産のためのクリーンな代替品を提供することを目指しています。

■ 投資先企業の概要

ZEG Power は、2008年にノルウェーの2つの研究所（エネルギー技術研究所（IFE）と Christian Michelsen Research AS）の合併会社として設立されました。ZEG Power は、集積された炭素回収を使用して、炭化水素ガスから無公害水素を効率的に生産する技術を提供しています。炭化水素ガスは、天然ガスやバイオガスの主成分であり、天然ガスは現在、最大の水素源です。また、ZEG Power は、バイオガスからの水素と炭素回収を組み合わせることで、マイナスの二酸化炭素排出量を達成しています。これら ZEG Power の技術は、エネルギー技術研究所（IFE）から生まれた研究開発に基づいています。

ZEG Power についての詳細は、<https://www.zegpower.com>

■ 「未来創生（1号）ファンド」及び「未来創生 2号ファンド」の概要

未来創生（1号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた3社による総額約135億円の出資により、2015年11月より運用を開始しました。最終的には、上記3社を加えた計20社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約50社に投資しました。2018年下半期には、既存投資領域3分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2号ファンドの運用を開始しました。2020年2月末時点の運用資産残高は、1号と2号あわせて、1,093億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室  
TEL：03-6711-9100 / FAX：03-6711-9101  
pr\_media@sparxgroup.com